

令和7年度 第2回湯沢市部活動協議会 記録(文化部)

(進行:事務局)

各学校への伝達事項について

- ・各学校を回り、各部活動の顧問の先生方に地域クラブ活動の指導協力をお願いしている。
- ・平日は学校部活動、休日は地域の指導者の他、兼職兼業を希望された先生方に関わっていただき、これまでの経験値を生かしていただきたいとお願いしている。
- ・令和7年度は3校に部活動指導員をそれぞれ1名ずつ配置されている。
- ・令和8年度は、2校への配置を考えている。
- ・休日(土・日)は、教員と部活動指導員の協働により、負担軽減を考えている。

(委員)

- ・「先生方への指導協力をお願いしたい」、「部活動指導員を配置している」という考えがあるが、矛盾しているのではないかと感じる。吹奏楽部の指導者の現状としては、大変だと思うため、指導に協力いただくことは難しいのではないかと感じる。
- ・部活動指導員が平日に入り、先生方と一緒に指導していくことができるような体制が良いのではないかと感じる。平日に部活動指導員が関わるということが必要ではないか。土日だけの指導に終わらないようにしていくことが大切ではないか。

(委員)

- ・部活動指導員は、210時間で対応することになる。
- ・先生方が地域指導者として休日の指導に当たる場合、部活動手当が減るという現状を捉えなければならぬ。
- ・指導者の人数よりも少ない予算により、いつまでも、人数割りが長く続いていくのであれば、この体制は長く続かないのではないかと感じる。情熱ばかりでは何十年も続かない。一人にかかる謝金については、財政的に確保できるのか。
- ・他の県では「うまくいったから、自走しなさい」と言われる場合があるので、財源の確保をお願いしたい。

(委員)

- ・TTC(卓球)の例でいくと、指導者の予算は、4人分しかないので、保護者会から部費とは別に月謝を「月1,000円」集めて対応している。市からの支援がずっと続いていくのかはわからないため、将来を見据えて対応している。消耗品もかかるため。

(委員)

- ・その他に、企業の方からのスポンサーを募り、資金援助していただいている。

(委員)

- ・スポンサーは指導者が呼びかけるのか。

(委員)

- ・保護者やクラブ担当者が進めている。

(委員)

- ・指導しに来てくれる方がいらっしゃれば、謝金を支払うことはやぶさかではない。
- ・子供たちのためなら、お金を出してくれると思う。
- ・教えてくださる方がいれば、対応できるのではないか。

(委員)

- ・吹奏楽部と合唱部について、年次計画案が示されているが、令和8年度に試行するのか。

(進行:事務局)

- ・令和8年度は、協議を始める段階。土日の地域展開ができるのは、3年生が引退してからになるのではないかと考えている。

(事務局)

- ・現状、令和8年度は部活動で活動していくため、同じような活動が続いていく。
- ・吹奏楽コンクールの規定では、合同バンドで中学生の部に出場できるため、市の案は、出場規定をクリアできる。

(委員)

- ・平日と休日の枠組みが変わる学校がでるのではないか。
- ・3つの中学校は単独の形となるが、今後、その枠組みは変わるのか。もし、変わるとすれば、そのときに労力があるのではないか。

(進行:事務局)

- ・当然、枠組みは変わるだろう。
- ・現時点では、この枠組みが、生徒にストレスがないのではないか。
- ・部員数が減り、単独が危ぶまれるようなときには、合併になっていくのではないか。

(委員)

- ・ある中学校は部員が1人ということになる。

(委員)

- ・保護者と子供の気持ちによるのではないか。
- ・気持ちを押し量りながら進めていくことが大切なのではないか。
- ・様子を見ながら、枠組みを編成することしかないのではないか。

(委員)

- ・枠組みについて、見直しを図る基準があるとよいが。

(事務局)

- ・他の中学校でも新入部員が1人となったとき、合同を考えなければならない時期がくるだろう。

(委員)

- ・吹奏楽は、やろうと思えば、何人でもやることができる。
- ・音楽のまちゆざわ推進協議会が中心となり、大きな枠組みを提示していかなければならないのではないか。

(委員)

- ・もし、やるとしたら、「これだけの条件を整えるのでやりましょう、(財源、輸送、講師謝礼等)」と言えれば、一気にできるだろうが、予算の確保ができない状態でやることは難しい。
- ・推進している先進事例を見ると、市が主導してお金を出している。自治体の覚悟が必要ではないか。

(委員)

- ・来年、地域クラブが一つ、吹奏楽連盟に加入することも必要か。
- ・合唱は、小学校には合唱部があるが、進学する中学校に合唱部がない場合があるため、ぜひ、小学校と一緒に一つのクラブを作ってあげたい思いがある。
- ・湯沢北中には合唱部がないため、湯沢東小の子供たちのために、作ってあげることはできないか。

(委員)

- ・兼職兼業の届け出を行って指導したいと思っている先生はいると思うが、教員は人事異動があるので、固定した指導者を見つけるには難儀すると思う。
- ・それに、合唱を指導できる教員はなかなかいないというのが現状。
- ・地域指導者が入っていければよいが、非常に難しい。地域クラブがずっと続いていけるような体制ができればよいと考えている。

(事務局)

- ・合唱は、「将来的に一つの地域クラブを作っていきたい」という考えが出たということでよいか。

(委員一同)

- ・よい。

(進行:事務局)

- ・必要な予算については、叶うかどうかは別として、要求、要望していく。